

整理番号	事業名	事業概要	交付金活用額 （千円）	事業実施状況	効果検証
1	令和五年度小矢部市電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金【物価高騰対策給付金】	物価高が続く中で低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。	104,226	給付世帯数：2,005世帯	給付金を給付することで、物価高騰の影響の影響を受ける住民税非課税世帯等の負担軽減に寄与した。
2	低所得者支援給付金【均等割のみ】	物価高騰が続く中で住民税均等割のみ世帯への支援を行うことで、住民税均等割のみ世帯の方々の生活を維持する。	61,116	給付世帯数：572世帯	給付金を給付することで、物価高騰の影響の影響を受ける住民税非課税世帯等の負担軽減に寄与した。
4	低所得者支援給付金【子ども加算】	物価高騰が続く中で低所得子育て世帯への支援を行うことで、低所得子育て世帯の方々の生活を維持する。	9,175	給付児童数：205人	給付金を給付することで、物価高騰の影響の影響を受ける住民税非課税世帯等の負担軽減に寄与した。
5	低所得者支援給付金【新たな非課税】	物価高騰が続く中で新たに令和6年度に非課税となる世帯及び均等割のみ課税となる世帯への支援を行うことで、低所得世帯の方々の生活を維持する。	31,373	給付世帯数：279世帯	給付金を給付することで、物価高騰の影響の影響を受ける住民税非課税世帯等の負担軽減に寄与した。
6	低所得者支援給付金【調整給付】	物価高騰が続く中で令和6年度に実施する定額減税において、減税しきれなかった分の調整給付を行い、対象となった方々の生活を維持する。	40,780	給付件数：5,428件	給付金を給付することで、物価高騰の影響の影響を受ける住民税非課税世帯等の負担軽減に寄与した。
7	並行在来線燃料価格高騰対策支援事業	エネルギー価格の高騰の影響を受けながらも運行を継続する並行在来線運行事業者に対し補助金を交付する。	1,576	並行在来線運行事業者に対し、運行に係る電気料金の価格高騰分を補助した。	電力価格高騰分を補助することにより、当該事業者の安定的な事業継続に寄与した。
8	原油価格高騰対策支援事業	昨今の農業用資材の高騰を受けて、令和５年度において市内の農業者が意欲的な営農活動の継続のため、支援金を給付するもの	6,275	市内農業者342名に対して10aあたり200円の支援金、合計6,235,900円を３月に支給した。	農業用資材の影響を受けた市内農家の意欲的な営農継続に寄与した。
9	小矢部市プレミアム付商品券発行事業補助金	物価高騰等の影響を受けた生活者を支援するため、プレミアム付商品券発行し、消費喚起と市内経済の下支えを行う。	36,000	プレミアム付商品券（500円×13枚）を5,000円で販売した。（プレミアム率30％）	物価高騰の影響を受けた地域経済の活性化及び生活者支援に寄与した。
10	運輸事業者燃料価格高騰対策支援事業	燃料価格高騰の影響を受けている市内運輸事業者に対して支援金を支給する。	2,910	事業用車両の稼働台数に応じて、支援金を支給した。	燃料価格高騰の影響を受けている市内運輸事業者の事業継続に寄与した。
11	公共交通対策事業	①原油価格高騰により影響を受けながらも運行継続している交通事業者（乗合バス・タクシー）を支援するため、原油価格高騰分を助成するもの。	473	交通事業者へ燃料価格高騰分を助成した。	燃料価格高騰に係る負担の軽減を図ったことで地域公共交通の運行継続に寄与した。
12	子育て世帯へのお米引換券配布事業費	子育て世帯への経済的支援と市産米の消費拡大を目的に、子育て世帯へお米引換券を配布する。	11,021	子育て世帯へお米引換券を配布した。	子育て世帯の経済的負担軽減及び市産米の消費拡大に寄与した。
13	指定管理施設電気料金等高騰対策支援金	①コロナ禍において、電力・ガス等の価格が高騰する中、公共施設の運営を担う指定管理者に対して価格高騰分を支援することで、事業を継続していただくために支援するもの。 ②電気料、燃料費の増加分への支援金 ③（R5年電気料・燃料費-R3年電気料・燃料費）×50％ ④指定管理者制度導入施設を管理している６事業者（８施設）	1,074	市内８施設の指定管理者への支援	必要な電気料、燃料費の支援をし、施設の継続的な運営に寄与した。
（合計）			305,999		